

2.3. 各語系の履修方法（平成27年度）

ドイツ語の履修方法

平成27年度開講科目

表1：ドイツ語Ⅰ

| | 前期 | 後期 |
|---|----------------|----------------|
| 火 | ドイツ語Ⅰ-1a 西出 | ドイツ語Ⅰ-2a 西出 |
| | ドイツ語Ⅰ-1b 鈴木(将) | ドイツ語Ⅰ-2b 鈴木(将) |
| | ドイツ語Ⅰ-1c 北原(寛) | ドイツ語Ⅰ-2c 北原(寛) |
| 木 | ドイツ語Ⅰ-1a 副島 | ドイツ語Ⅰ-2a 副島 |
| | ドイツ語Ⅰ-1b 佐藤(和) | ドイツ語Ⅰ-2b 佐藤(和) |
| | ドイツ語Ⅰ-1c 梅津 | ドイツ語Ⅰ-2c 梅津 |

表2：ドイツ語Ⅱ

| | 前期 | 後期 |
|---|-----------------|-----------------|
| 火 | ドイツ語ⅡA-1a 北原(寛) | ドイツ語ⅡA-2a 北原(寛) |
| | ドイツ語ⅡA-1b 鈴木(将) | ドイツ語ⅡA-2b 鈴木(将) |
| | ドイツ語ⅡB-1a 副島 | ドイツ語ⅡB-2a 副島 |
| | ドイツ語ⅡB-1c 西出 | ドイツ語ⅡB-2c 西出 |
| 木 | ドイツ語ⅡA-1a 副島 | ドイツ語ⅡA-2a 副島 |
| | ドイツ語ⅡA-1b 梅津 | ドイツ語ⅡA-2b 梅津 |
| | ドイツ語ⅡB-1b 佐藤(和) | ドイツ語ⅡB-2b 佐藤(和) |

ドイツ語Ⅰの履修方法

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語Ⅰの履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語Ⅰの再履修方法」に加え、次に注意してください。

a) クラス編成

Ⅰ-1、Ⅰ-2とも3クラス編成（a、b、c）である。履修者は前期、後期とも同一のクラスを履修すること。なお、クラス所属は学生番号により均等割りとし、初回授業より前に学生控室前の掲示板に掲示する。

b) 合格および成績評価の基準

ドイツ語Ⅰはドイツ語Ⅱの履修に必要な基礎の修得をもって合格とする。

- ① ドイツ語の基礎的な文法・基本語彙を習得していること。
- ② 平易な文章を読み書きできること。
- ③ 平易な発話を聞き取り、話せること。

なお、「秀、優、良、可」の基準については、各教員が別途指示する。

c) 再履修者のクラス所属

- 1) 再履修者は、前年度と同じクラスに所属する。
- 2) 平成 24 年度以前に入学し、I-4 に所属していた者は、3つのクラスのいずれかを選択して初回授業に出席すること。

d) 半期制への移行措置（平成 24 年度以前入学生）

平成 24 年度以前入学生がドイツ語 I を（再）履修する場合、半期制導入後の I-1（前期）および I-2（後期）を履修すること。その場合、クラス所属については上記 c) に準ずるが、前期、後期とも同一クラスを履修すること。

ドイツ語 II の履修方法

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語 II の履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語 II の再履修方法」に加え、次に注意してください。

e) 履修コースと所属クラスの決定

- 1) ドイツ語 II A は、半期週 2 回の授業に前後期出席し前後期 2 単位ずつ計 4 単位を修得しようとする者のコースである。ドイツ語 II B は、半期週 1 回の授業に前後期出席し前後期 1 単位ずつ計 2 単位を修得しようとする者のコースである。
- 2) 履修者は、前期、後期とも同一コース、同一クラスを履修すること。
- 3) 履修希望者は、4 月初回のオリエンテーションに参加し、履修コースと所属クラスを決定し、次回から正式に出席すること。また、オリエンテーションを欠席した場合、希望のコース、クラスを履修できない可能性があるため、必ず出席すること。

f) 合格および成績評価の基準

ドイツ語 II は中級程度のドイツ語の修得をもって合格とし、「秀、優、良、可」の基準については、各教員が授業の目的および内容に沿って設定し別途指示する。

g) 半期制への移行措置（平成 24 年度以前入学生）

平成 24 年度以前入学者がドイツ語 II を（再）履修する場合、半期制導入後の II A-1 / II A-2 または II B-1 / II B-2 を履修すること。その場合、コースの選択およびクラス所属については上記 e) に準ずるが、前期、後期とも同一コース、同一クラスを履修すること。

フランス語の履修方法

平成27年度開講科目

表1：フランス語Ⅰ

| | 前期 | 後期 |
|---|-----------------|-----------------|
| 火 | フランス語Ⅰ-1a 江口 | フランス語Ⅰ-2a 江口 |
| | フランス語Ⅰ-1b 尾形 | フランス語Ⅰ-2b 尾形 |
| | フランス語Ⅰ-1c 村山 | フランス語Ⅰ-2c 村山 |
| | フランス語Ⅰ-1d ヤウヤウイ | フランス語Ⅰ-2d ヤウヤウイ |
| 木 | フランス語Ⅰ-1a デュボワ | フランス語Ⅰ-2a デュボワ |
| | フランス語Ⅰ-1b 江口 | フランス語Ⅰ-2b 江口 |
| | フランス語Ⅰ-1c 尾形 | フランス語Ⅰ-2c 尾形 |
| | フランス語Ⅰ-1d 高橋 | フランス語Ⅰ-2d 高橋 |

表2：フランス語Ⅱ

| | 前期 | 後期 |
|---|------------------|------------------|
| 火 | フランス語ⅡA-1a 江口 | フランス語ⅡA-2a 江口 |
| | フランス語ⅡA-1b ヤウヤウイ | フランス語ⅡA-2b ヤウヤウイ |
| | フランス語ⅡA-1c 村山 | フランス語ⅡA-2c 村山 |
| | フランス語ⅡB-1a 江口 | フランス語ⅡB-2a 江口 |
| 木 | フランス語ⅡA-1a デュボワ | フランス語ⅡA-2a デュボワ |
| | フランス語ⅡA-1b 高橋 | フランス語ⅡA-2b 高橋 |
| | フランス語ⅡA-1c 尾形 | フランス語ⅡA-2c 尾形 |
| | フランス語ⅡB-1b 江口 | フランス語ⅡB-2b 江口 |

フランス語Ⅰの履修方法

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語Ⅰの履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語Ⅰの再履修方法」に加え、次に注意してください。

a) クラス編成

I-1、I-2とも4クラス編成(a、b、c、d)である。履修者は前期、後期とも同一のクラスを履修すること。なお、クラス所属は学生番号により均等割りとし、初回授業より前に学生控室前の掲示板に掲示する。

b) 合格および成績評価の基準

フランス語Ⅰはフランス語Ⅱの履修に必要な基礎の修得をもって合格とする。

- ①発音の規則を身につけ、基本的な発話、聞き取りができること。
- ②基本文法を理解し、辞書を用いて平易な文章の読み書きができること。
- ③特に動詞の活用および時制については習熟すること。

なお、「秀、優、良、可」の基準については、各教員が別途指示する。

c) 再履修者のクラス所属

- 1) 再履修者のクラス所属については、前年度のクラス所属にかかわらずクラスを選択してよい（クラス定員管理のため制限を加えることもある）。
- 2) 他言語からの変更を認められた者のクラス所属も上記1)に準ずる。

d) 半期制への移行措置（平成24年度以前入学生）

平成24年度以前入学生がフランス語Ⅰを（再）履修する場合、半期制導入後のⅠ－1（前期）およびⅠ－2（後期）を履修すること。その場合、クラス所属については上記c)に準ずるが、前期、後期とも同一クラスを履修すること。

フランス語Ⅱの履修方法

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法」に加え、次に注意してください。

e) 履修コースと所属クラスの決定

履修コースおよび所属クラスの決定は、4月の最初の授業で行われる合同オリエンテーション（その年に開講されるすべての授業の紹介）で行われる。定員を超えた場合、抽選で決定する場合もあるので、必ず出席すること。オリエンテーションを欠席した者は、希望のコース、クラスを履修できない可能性がある。

f) 合格および成績評価の基準

フランス語Ⅱは中級程度のフランス語の修得をもって合格とし、「秀、優、良、可」の基準については、各教員が授業の目的および内容に沿って設定し別途指示する。

g) 半期制への移行措置（平成24年度以前入学生）

平成24年度以前入学者がフランス語Ⅱを（再）履修する場合、半期制導入後のⅡA－1／ⅡA－2またはⅡB－1／ⅡB－2を履修すること。その場合、コースの選択およびクラス所属については上記e)に準ずるが、前期、後期とも同一コース、同一クラスを履修すること。

中国語の履修方法

平成27年度開講科目

中国語 I

| | 前期 | 後期 |
|---|---------------|---------------|
| 火 | 中国語 I - 1a 裴 | 中国語 I - 2a 裴 |
| | 中国語 I - 1b 谷内 | 中国語 I - 2b 谷内 |
| | 中国語 I - 1c 霜鳥 | 中国語 I - 2c 霜鳥 |
| | 中国語 I - 1d 嘉瀬 | 中国語 I - 2d 嘉瀬 |
| 木 | 中国語 I - 1a 嘉瀬 | 中国語 I - 2a 嘉瀬 |
| | 中国語 I - 1b 裴 | 中国語 I - 2b 裴 |
| | 中国語 I - 1c 楊 | 中国語 I - 2c 楊 |
| | 中国語 I - 1d 高 | 中国語 I - 2d 高 |

中国語 II

| | 前期 | 後期 |
|---|---------------------|---------------------|
| 火 | 中国語 II A - 1a 裴 | 中国語 II A - 2a 裴 |
| | 中国語 II A - 1b 谷内 | 中国語 II A - 2b 谷内 |
| | 中国語 II A - 1c 霜鳥 | 中国語 II A - 2c 霜鳥 |
| | 中国語 II A - 1d 嘉瀬 | 中国語 II A - 2d 嘉瀬 |
| | 中国語 II B - 1a 胡 | 中国語 II B - 2a 胡 |
| 木 | 中国語 II A - 1a 嘉瀬 | 中国語 II A - 2a 嘉瀬 |
| | 中国語 II A - 1b 裴 | 中国語 II A - 2b 裴 |
| | 中国語 II A - 1c 楊 | 中国語 II A - 2c 楊 |
| | 中国語 II A - 1d 高 | 中国語 II A - 2d 高 |
| | 中国語 II B - 1b 加藤(眞) | 中国語 II B - 2b 加藤(眞) |

中国語 I の履修方法

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語 I の履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語 I の再履修方法」に加え、次の点に注意してください。

a) クラス編成

I - 1、I - 2ともに4クラス編成(a、b、c、d)である。履修者は前期、後期とも同一のクラスを履修すること。なお、所属クラスは学生番号により均等に割り振り、初回授業より前に学生控室前の掲示板に掲示する。

b) 合格および成績評価の基準

中国語Ⅰは、中国語Ⅱの履修に必要な能力が習得されていることをもって合格とする。合否の基準は、中国語の基礎および初級の文法・語彙に習熟し、四技能(聞く・話す・読む・書く)を習得しているか否かによる。なお、成績評価の基準については、各教員が別途指示する。

c) 再履修者の所属クラス

- 1) 再履修者の所属クラスについては、前年度の所属クラスにかかわらずクラスを選択してよい(クラスの定員管理のために制限を加えることもある)。ただし、前期、後期とも同一クラスを履修すること。
- 2) 他言語からの変更を認められた者の所属クラスも上記1)に準ずる。

d) 半期制への移行措置(平成24年度以前入学生)

平成24年度以前入学生が中国語Ⅰを(再)履修する場合、半期制導入後のⅠ-1(前期)およびⅠ-2(後期)を履修すること。その場合、所属クラスについては上記c)に準ずる。

中国語Ⅱの履修方法

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法」に加え、次に注意してください。

e) 履修コースと所属クラスの決定

中国語Ⅱの履修を希望する者は、4月第1週(7日・9日)に行われる授業(オリエンテーション)に参加し、そこで配布される「中国語Ⅱ履修希望調査票」に履修を希望するクラスを第5希望まで記入の上、4月9日13時までに中国語の教員に提出すること。この調査票に基づいて抽選を行ない所属クラスを決定し、掲示にて発表する。前期、後期とも同一コース、同一クラスを履修すること。なお、調査票の未提出者は、希望クラスでの履修が認められないことがある。

f) 合格および成績評価の基準

中国語Ⅱは、中級程度の中国語能力の習得をもって合格とする。成績評価の基準については、各教員が授業の目的および内容に沿って設定し、別途指示する。

g) 半期制への移行措置(平成24年度以前入学生)

平成24年度以前入学者が中国語Ⅱを(再)履修する場合、半期制導入後のⅡA-1/ⅡA-2またはⅡB-1/ⅡB-2を履修すること。その場合、コースの選択および所属クラスについては上記e)に準ずる。

スペイン語の履修方法

平成27年度開講科目

表1：スペイン語Ⅰ

| | 前期 | 後期 |
|---|-----------|-----------|
| 火 | I-1 田林 | I-2 田林 |
| 木 | I-1 パイチャゼ | I-2 パイチャゼ |

表2：スペイン語Ⅱ

| | 前期 | 後期 |
|---|-----------------------|-----------------------|
| 火 | ⅡA-1 田林 | ⅡA-2 田林 |
| 木 | ⅡA-1 パイチャゼ ⅡB-1 田林 | ⅡA-2 パイチャゼ ⅡB-2 田林 |

1. スペイン語Ⅰの履修方法

スペイン語Ⅰ-1、Ⅰ-2はそれぞれ1クラスだけ開講します。

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語Ⅰの履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語Ⅰの再履修方法」をよく読んでください。

前期科目のスペイン語Ⅰ-1の単位を取得しないと、後期科目のスペイン語Ⅰ-2を履修できないので、注意してください。

2. スペイン語Ⅱの履修方法

スペイン語ⅡA-1、ⅡA-2、ⅡB-1、ⅡB-2はそれぞれ1クラスだけ開講します。

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法」をよく読んでください。

履修者はAコース（ⅡA-1およびⅡA-2：火、木の週2回）またはBコース（ⅡB-1およびⅡB-2：木で週1回）のいずれかを選択してください。

前期科目のスペイン語ⅡA-1あるいはⅡB-1の単位を取得しないと、後期科目のスペイン語ⅡA-2あるいはⅡB-2を履修できないので、注意してください。

ロシア語の履修方法

平成27年度開講科目

表1：ロシア語Ⅰ

| | 前期 | 後期 |
|---|---------------|---------------|
| 火 | I-1 スペヴァコフスキー | I-2 スペヴァコフスキー |
| 木 | I-1 山田 | I-2 山田 |

表2：ロシア語Ⅱ

| | 前期 | 後期 |
|---|---------------------------|---------------------------|
| 火 | ⅡA-1 スペヴァコフスキー ⅡB-1 山田 | ⅡA-2 スペヴァコフスキー ⅡB-2 山田 |
| 木 | ⅡA-1 山田 | ⅡA-2 山田 |

1. ロシア語Ⅰの履修方法

ロシア語Ⅰ-1、Ⅰ-2はそれぞれ1クラスだけ開講します。

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語Ⅰの履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語Ⅰの再履修方法」をよく読んでください。

前期科目のロシア語Ⅰ-1の単位を取得しないと、後期科目のロシア語Ⅰ-2を履修できないので、注意してください。

2. ロシア語Ⅱの履修方法

ロシア語ⅡA-1、ⅡA-2、ⅡB-1、ⅡB-2はそれぞれ1クラスだけ開講します。

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法」をよく読んでください。

履修者はAコース（ⅡA-1およびⅡA-2：火、木の週2回）またはBコース（ⅡB-1およびⅡB-2：火で週1回）のいずれかを選択してください。

前期科目のロシア語ⅡA-1あるいはⅡB-1の単位を取得しないと、後期科目のロシア語ⅡA-2あるいはⅡB-2を履修できないので、注意してください。

朝鮮語の履修方法

平成27年度開講科目

表1：朝鮮語Ⅰ

| | 前期 | 後期 |
|---|---------|---------|
| 火 | I-1 韓然善 | I-2 韓然善 |
| 木 | I-1 李賢峻 | I-2 李賢峻 |

表2：朝鮮語Ⅱ

| | 前期 | 後期 |
|---|----------------------|----------------------|
| 火 | ⅡA-1 韓然善 ⅡB-1 李賢峻 | ⅡA-2 韓然善 ⅡB-2 李賢峻 |
| 木 | ⅡA-1 李賢峻 | ⅡA-2 李賢峻 |

1. 朝鮮語Ⅰの履修方法

朝鮮語Ⅰ-1、Ⅰ-2はそれぞれ1クラスずつ開講しています。

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語Ⅰの履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語Ⅰの再履修方法」をよく読んでください。

前期科目の朝鮮語Ⅰ-1の単位を取得しないと、後期科目の朝鮮語Ⅰ-2を履修できないので、注意してください。

2. 朝鮮語Ⅱの履修方法

朝鮮語ⅡA-1、ⅡA-2、ⅡB-1、ⅡB-2はそれぞれ1クラスずつ開講しています。

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法」をよく読んでください。

履修者はAコース（ⅡA-1およびⅡA-2：火、木の週2回）またはBコース（ⅡB-1およびⅡB-2：火で週1回）のいずれかを選択してください。

前期科目の朝鮮語ⅡA-1あるいはⅡB-1の単位を取得しないと、後期科目の朝鮮語ⅡA-2あるいはⅡB-2を履修できないので、注意してください。